

健康寿命の延伸にむけて — 高齢者健康生きがいつくり事業 —

No.47
 2018.1.1号

日本人の平均寿命は女性87.14歳、男性80.98歳でいずれも過去最高を記録しております。平均寿命まで生きることができれば良いのかというと、必ずしもそうとは限りません。重要なのは健康寿命です。健康寿命とは「病気をしていない期間」ではなく「介護を受けないで自立している期間」のことです。平均寿命と健康寿命の間には、男性で約9年、女性で約12年の差があります。人と接し、会話を楽しみ、そして元気に笑う、健康寿命を延ばしつつまでも地域でいきいきと生活していくことができれば幸いですね。



五里合地区ふれあい・いきいきサロン

主な内容

- ・ 新年のご挨拶 2
- ・ 各種事業等紹介 3
- ・ お知らせ、他 4
- ・ 特別会員等紹介 5
- ・ 善意紹介、各種お知らせ等 6

編集発行

社会福祉法人 **男鹿市社会福祉協議会**

〒010-0511 秋田県男鹿市船川港船川字片田74番地
 電話 (0185) 23-2772 FAX (0185) 24-3301
 ホームページ URL <http://www.ogashakyo.com>

若美福祉拠点センター

〒010-0431 秋田県男鹿市払戸字渡部30番地17
 電話 (0185) 46-3939 FAX (0185) 46-3795

新年のご挨拶



社会福祉法人
男鹿市社会福祉協議会
会長 太田 春海

新年あけましておめでとうございます。
皆様には日頃より当会事業へのご理解、
ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。
さて、近年の少子高齢化の進行による
人口構造の変化や、それらがもたらす影
響により、私達の暮らしには大きな変化
が生じております。国では地域や家族形
態の変容等により、複雑化する福祉課題
に対応するため、「地域共生社会」の実
現を掲げており、「ひとごと他人事」を「わがこと我が事」
として住民一人ひとりが主体的に取り組
む地域づくりやそれらを受け止められる
総合相談支援の体制の必要性を説いて
います。

地域の福祉課題は、地域の皆様と関係
機関との連携と協力による支援体制によ
り、解決へと導かれるものであると考え
ます。当会でも、地域での支え合いや助
け合いの体制づくりについては、試行錯
誤を繰り返しながら対応して参りました。
それはまた、これからも変わることなく
継続していくものです。そして、同時に
本会の基本目標である「いのち輝く、い
きいき福祉のまちづくり」に向けての活
動として展開していくものです。
本年も、地域福祉活動の推進のために、
役職員一同で地道に取り組んで参る所存
です。どうかなお一層のご協力とご支援
を賜りますようお願い申し上げます。
また、皆様にとりまして、今年も幸多
い一年となりますことをご祈念申し上げ、
新年のご挨拶といたします。

受賞おめでとうございます

今年度の秋田県社会福祉大会（11
月9日開催）に於いて、次の方々が
多年のご功績をたたえられ、受賞さ
れました。おめでとうございます。

秋田県知事表彰

【民生委員児童委員功労】

- ・佐々木 かおる
- ・佐藤 正悦
- ・杉本 文吾
- ・三浦 孝子
- ・佐藤 定久
- ・清水 信子
- ・鈴木 芳枝

【社会福祉奉仕者・団体功労】

- ・ピーチクラブ
- ・アカシアの会

秋田県社会福祉協議会会長表彰

【社会福祉功労】

- ・佐藤 カツ子（社会福祉協議会理事）
- ・中山 美和子（社会福祉協議会職員）
- ・原田 孝明（男鹿ことぶき会監事）

（敬省略・順不同）



笑いがもたらす健康効果！

— 高齢者健康生きがいづくり事業 —

今年も市内9地区において、「ふれあい・いきいきサロン」を開催いたしました。

笑いがもたらす健康効果には、脳の働きを活性化させたり、血行促進や筋力アップ効果もあると言われております。笑えば笑うほど元気になり、元気になるほど、やる気も出てきます。やる気が出ないときは、まず笑ってみましょう。

また、笑うことは、人の免疫機能を高める作用があります。やる気が出ないときは、ストレスで免疫機能が低下しているときです。笑って死んだという人は聞いたことがありませんが、笑って元気になったという人なら、皆さんもたくさん聞いたことがあるかと思えます。笑い飛ばすとは、ストレスを飛ばすということのようです。



男鹿中地区



脇本地区

高齢者送迎などに活用

— 在宅福祉移送サービスカーの寄贈 —

9月28日、中外製薬株

式会社（本社東京、代表取締役会長 CEO 永山治）様より、「在宅福祉移送サービスカー」1台が当会へ寄贈されました。これは、中外製薬様が創立60周年記念事業の一環として、1985年に開始されて以来、継続して行われている社会貢献事業の1つで、累計248台が寄贈されております。また寄贈先については、全ての都道府県にわたっており、様々な在宅福祉事業に活用されております。寄贈されたのはワゴンタイプで、前席2名（運転手含む）、後部に車椅子を最大4台乗せられるほかストレッチャーにも対応しております。車椅子などの昇降もリフトにより簡単に行うことができます。



他に介護者席として固定式2席と折り畳み式3人掛け席が装備されています。当会では、中央デイサービスセンターの利用者の送迎車輛として活用させていただきます。



当会では、中央デイサービスセンターの利用者の送迎車輛として活用させていただきます。

「救うことをつづける」NHK海外たすけあい募金

昨年12月1日～25日まで世界各地の紛争や災害、飢餓等で苦しんでいる人々を、長期的に支援するための「NHK海外たすけあい」キャンペーンが実施されました。12月2日（土）には、全県一斉に街頭募金が行われ、男鹿市では赤十字奉仕団の皆さんが（株）アマノ男鹿店にて呼びかけを行い19,974円の募金が集まりました。集まりました募金は世界50カ国への支援にと役立てられます。ご協力ありがとうございました。



お気持ちありがとうございます

（株）ベジリンクあきた男鹿様よりキャベツ28ケース、めぐみ農園様より梨11ケース、秋田県中部地区郵便局長会男鹿部会様よりテマーク入りのりんご306個をいただきました。

これらの善意は、サービス利用者の方々に届けられた他、デイサービスや配食サービスの給食材料としておいしく活用させていただきます。沢山の善意に心より深く感謝申し上げます。



男鹿市社会福祉大会を開催します

男鹿市社会福祉協議会の基本目標である「いのち輝くいきいき福祉のまちづくり」を地域の皆様とともに推進していくことを目指し、平成29年度男鹿市社会福祉大会を開催します。

・日時 平成30年2月24日(土)

12時30分 受付

・場所 男鹿市民文化会館(大ホール)

入場無料

・内容 式典、講演、アトラクション等

※詳しくは、2月1日発行の「広報おが」

折込チラシをご覧ください。

県職員による除雪ボランティア隊

昨年に引き続き、県職員による「県庁除雪ボランティア隊」が結成されました。除排雪についてお困りの方はご相談ください。

・活動場所 原則、高齢者等要援護者世帯の敷地とし、社協等から連絡のあった場所

※男鹿市社会福祉協議会まで問い合わせ下さい。

☎23-2772

やってみようボランティア活動!

「ボランティア」と聞くとどんなことを思いだされるでしょう。「被災地での活動」、「困っている人に無償で何かをしてあげること」、「時間のある人がやること」など特別な活動と思ってはいませんか?

ボランティア活動は、以前、「ボランティア奉仕」と考えられており、恵まれない気の毒な人に行う奉仕・慈善活動という認識で「よくしてあげる」という奉仕感・使命感が強かったのではないのでしょうか。

現在のボランティア活動とは、子供も高齢者も障がい者も、ともに生き、ともに学び、ともに育ち、ともに暮らしていくために「何かをやりたい!」と思うことを主体的に行う活動になり、「自分のできることをして自身を向上させる」という考え方に変化してきました。

誰もがもっているやさしさや思いやりを、周囲の人や自然、環境のために役立つことをすれば、自分自身の成長、向上につながるようになるのではないのでしょうか。

何ごとも、行動を実行するにははじめの一步が大切です。みなさんも一歩踏み出してみませんか。

男鹿市内の施設等では、様々なボランティア活動を受け入れております。また、安心して活動できるように活動中の事故によるケガや損害賠償責任に対応している、ボランティア活動保険があります。詳しくは、社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。



特別会員

(敬称略・順不同)

平成29年度の特別会員としてご協力くださった方々のお名前です。

(平成29年12月4日までの受付分)

船川地区

一万円

・(株)沢木組 ・秋田海陸運送(株)
・(有)小杉商店 ・中村医院
・秋田石油備蓄 ・船木 茂
五千元

・(有)勉強堂 ・(株)諸井醸造
・(株)男鹿テクノ・(有)共栄無線
・小西歯科医院
・漁業共同組合船川統括所
・大龍寺 ・富田 豊子
・奥山 祖道 ・佐藤 佐吉
・鈴木 明 ・秋山 紘進
三千元

・男鹿市建設業協会

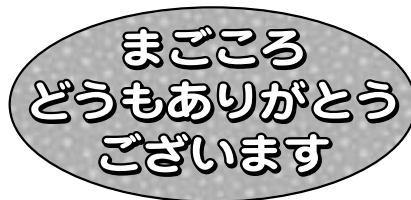
・花の店くろさわ
・お菓子のかまだ
・(株)さわき写真館
・伊藤時計店 ・渡部整骨院
・(株)千葉電業舎 ・東北鉄工(株)
・(有)福島肉店
・(有)鶴田電機商会
・(有)小坂商店
・森山歯科医院 ・守屋周治郎
・由利時計店 ・嶺徳院
・省 吾 ・おとみ
・おが和 ・一杉堂
・万盛漁業部 ・粕山工業(株)

・寄付金関係

日本海メロンマラソン実行委員会
36,674円 若美
ひなぎくの会 1万円 船川
堀井 歌子 1万円 船越
めぐみ農園 渡部啓一
2万円 若美
中田 金通 3万円 船越
匿名 3,672円
めぐみ農園 渡部啓一
梨 コンテナ11ケース 若美
(株)ベジリンクあきた男鹿
キャバツコンテナ28ケース 若美
木村 智子 書籍1冊 埼玉県
秋田県中部地区郵便局長会男鹿部会
りんご 306個

・船川地区社協へ

男鹿教会 5千円 船川



受付順、敬称略

(平成29年10月5日から平成29年12月4日受付分)

・椿地区社協へ

佐藤 達也 3千円 小浜
小野 栄美 3千円 椿
鈴木 智子 3千円 台島
舞静会 6千円

小坂 静子 双六
澤木 文子 台島

菅原 新悦 3千円 双六

・戸賀地区社協へ

飯澤 和子 3万円 戸賀

猿田 コト 2万円 加茂青砂
原田 寿 2万円 戸賀
・男鹿中地区社協へ
武田 徳勝 3万円 山田
武田 和雄 3万円 中間口
・五里合地区社協へ
伊藤 毅 2万円 箱井
・若美地区社協へ
近藤 重美 3万円 石田川原
はなれ家 1万円 宮沢
三浦 隆貴 3万円 釜谷地
佐藤 節子 3万円 角間崎
大淵 栄悦 3万円 道村
睦会 7,503円 渡部
鈴木 一男 3万円 小深見
若美地区民生児童委員 8,650円
はまなすの会 1万円
秋田県中部地区郵便局長会南秋部会
りんご 5箱分

指定相談支援事業所として相談受付をします

障害者総合支援法に基づき、身体障害者、知的障害者、精神障害者の方の日常生活全般に関する相談等に対応する窓口を開設しております。連絡・相談については原則として、月曜～金曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時15分までとなっております。 ※詳しくは社会福祉協議会まで ☎23-2772

男鹿調停協会との合同心配ごと相談所開設は2月予定です

期日が近づいてから折り込みチラシ等にてお知らせし、予約を受け付けします。会場の予定は保健福祉センターの予定です。開設時間は午前10:00から午後3:00までの予定で行います。

困りごと・心配ごとの相談は随時受け付けております

ひとりで悩むよりは相談しましょう。解決に向けて、専門の相談機関等の紹介も行います。秘密は堅く守り、相談は無料です。お気軽にご活用ください。 ※詳しくは社会福祉協議会まで ☎23-2772・46-3939

生活福祉資金貸付のお知らせ

※ 負債による生計維持困難者は不可

－ 社会福祉協議会では、低所得者世帯・障害者世帯又は高齢者世帯に対し、貸付することにより自立自活できると認められる世帯であって、自立自活に必要な資金の融通を他から受けることが困難である世帯に生活福祉資金の貸付を行っております －

1. 総合支援資金 失業等、日常生活全般に困難を抱えており生活の立て直しのために必要な生活費及び一時的な資金
<原則として生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業等による支援を受けることに同意していること>
○生活支援費 ○住宅入居費 ○一時生活再建費
2. 福祉資金 日常生活、自立生活する上で一時的に必要な費用 ○福祉費 ○緊急小口資金
3. 教育支援資金 学校教育法に定める学校に入学する、または在学している場合の必要経費
○教育支援費 ○就学支度費
4. 不動産担保型生活資金
将来にわたり住居に住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、不動産等を担保として、生活費を貸付
○不動産担保型生活資金 ○要保護世帯向け不動産担保型生活資金

※ 資金別に貸付要件がありますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

男鹿市社会福祉協議会 ☎23-2772 若美福祉拠点センター ☎46-3939